

2017年度商学部専門科目「経営学」

第1回 ガイダンス

本日の目標

今回と次回で、受講生の皆さんが入学された、大阪市立大学商学部の「学び」についてお伝えする。そこから、これから始まる4年間の勉学生活に向け積極的に、主体的に取り組んでいく、1つのきっかけとなることを目標とする。

本日の内容

自己紹介/今学期の授業計画について/ガイダンス「大阪市立大学商学部での学びとは何か」/テキストについて/評価方法/来週のキーワード/参考文献

1 自己紹介

中瀬哲史（なかせあきふみ）

1987年大阪市立大学商学部，ボート部卒業

現在，ボート部，アイスホッケー部の部長です。

2 今学期の授業計画について

月	日	曜日	時限	回数	内容		
					「経営学」講義	企画書づくり	
4	14	金		3	1	大阪市立大学商学部での学びとは何か:ガイダンス	-
4	28	金		3	2	大阪市立大学商学部での学びとは何か:大学での学びの意味と大学院生数名の経験談, ミニ・キャリアデザイン論の実践	企画書作成の最初の試み
5	12	金		3	3	ご講演Ⅰ:国際CCO交流研究所 理事 粟津重光先生ご講演	粟津先生のご講演、課題を受けての作業開始
5	19	金		3	4	会社の仕組み	分析シートの完成
5	26	金		3	5	「戦略論の過去、現在、未来」①	分析シートの発表、提出
5	30	火		3	6	「戦略論の過去、現在、未来」②	企画シート作業への着手
6	2	金		3	7	人的資源管理について	企画シート作業
6	9	金		3	8	企画シート作業日	企画シートの完成、発表、提出
6	16	金		3	9	株主価値について	プレゼンシートの完成、発表
6	23	金		3	10	生産活動について	過去の優秀プレゼンの鑑賞、企画書への着手
6	30	金		3	11	企業文化について	企画書の作成
7	7	金		3	12	ご講演Ⅱ:	企画書の提出
7	14	金		3	13	ベンチャービジネスについて	来週の発表者の公表
7	21	金		3	14	企画書レポート発表会	優秀企画書の発表会

3 「大阪市立大学商学部での学びとは何か」

3.1 商学部要覧より。

「経営学部が企業の活動そのものに焦点をあてようとするのに対して、商学部は企業の活動を通して経済や社会の動きを見ようとしています。この違いは大きいし、それを大切にしたいと考えています。その意味では、商学部は経営学部と経済学部の中間に位置するともいえます。

勉学の対象になるのは、企業の活動であり、それらが絡みあって構成される経済社会の動きです。それだけに、間口は広がっています。皆さんも広く関心をもって、取り組んでください。」(大阪市立大学商学部, 2016, 1頁)

⇒(1)「企業の活動」と「それらが絡み合って構成される経済社会の動き」の勉学
…しかし、いま一つ、よくわからない…

3.2 経済学からみた企業

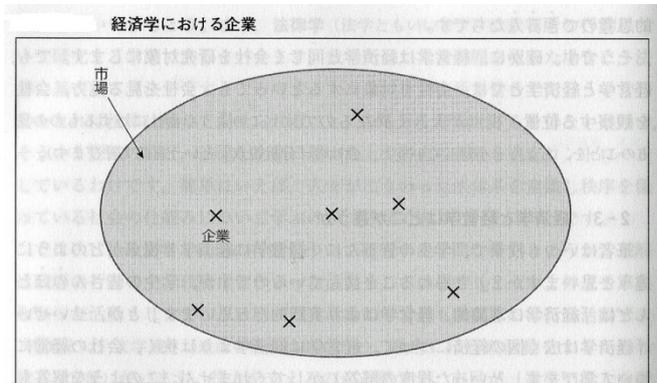
経済学；マクロ経済（国レベルの経済活動）、ミクロ経済（家計と企業の動き、産業への注目）

⇒経済学における企業

：「市場という大海に浮かぶ島々」（上林他，2007，373頁）（資料1）

…企業内部の動きには立ち入らない

資料1 経済学における企業



出所) 上林他 (2007), 374 頁。

3.3 経営学とは何か

「会社内部におけるヒト・モノ・カネ・情報等の経営資源が具体的に結びついて生産をしていく仕組み、あるいはそこから具体的にモノやサービスを消費されていく仕組みなどについて科学的に学ぶ」（上林他，2007，374頁）

現在，企業は，企業間の協働行動にも関与

⇒企業は，ビジネスシステムという企業内部，企業間の協働行為の制度的な枠組みまでを視野へ（加護野，山田，2016）

つまり，経営学とは，

(2) 企業内部，企業を中心とした関係性の検討（会計学も含む）

3.4 それでは、「商学」とは何か

経営学より

「製品・サービスが産み出された後，それが最終消費者にまで届けられるまでの過程」（上林他，2007，379頁）

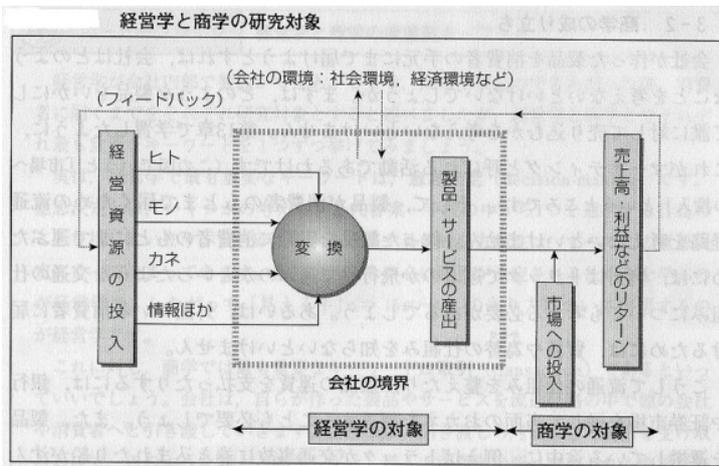
商学より

「企業の活動が相互に関連し合い，循環する状態にそのまま関心を寄せるのが商学である。商学は個々の企業の活動そのものではなく，それが他の企業の活動とどのように関連し合うかに関心を持つ。」（石原・忍那，2013，6頁）

2つの学問のキーワード

(3) 経営学；意思決定，商学；取引（資料2）

資料 2 商学と経営学の研究対象



出所) 上林他 (2007), 379 頁。

経済活動の循環を阻害する (4)リスク への対応 (資料 3)

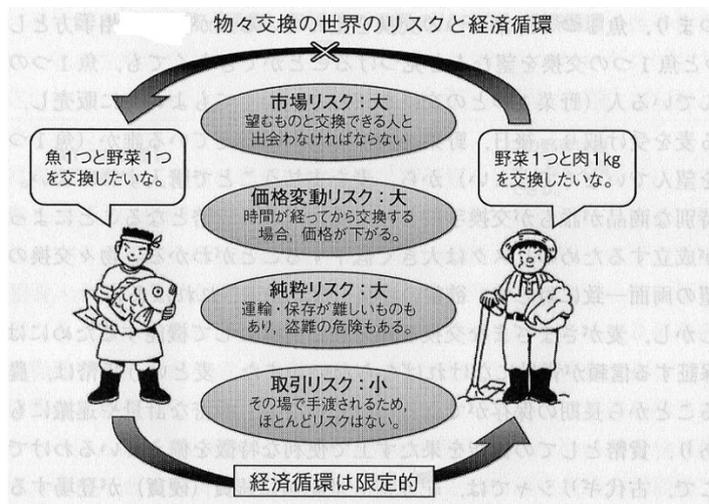
市場リスク (市場に受け入れられるかどうか→取引相手が見つかるか)

価格変動リスク (時間の経過にしたがって起こる価格の変動→鮮度が落ちないか)

純粹リスク (災害等)

取引リスク (期待通りのものかどうか, 代金回収は可能かどうか→取引相手への確認)

資料 3 物々交換でみられるリスク



出所) 石原・忍那, 2013, 99 頁。

⇒企業の経営行動による対処あり,

他方で, 硬貨という貨幣の登場で循環が可能…金融の働き⇒商学

◎経営学と商学の密接な関係⇒両方の学びが必要

3.5 商学の中の経営学

循環の中での企業活動の分析

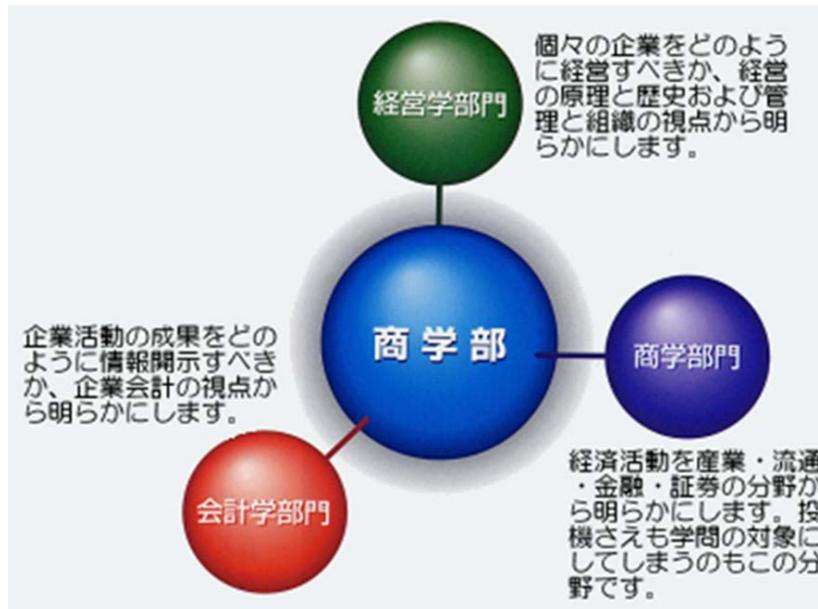
…(5)継続事業体 (going concern) としてのあり方の追求

本授業は, その経営学の基本的な学び

※具体的な企業活動と経済, 社会の動き…年賀状について (DVD)

◎大阪市立大学商学部の学び (資料 4)

資料 4 大阪市立大学商学部での学び



出所)大阪市立大学商学部(2016b)。

※「坂の上」のK大学経営学部との違い

産業・都市経営は大阪市立大学商学部

多様で興味深い教員の存在

教員との距離感

現代 GP 授業というユニークな授業の存在

<http://www.bus.osaka-cu.ac.jp/gp2007/index.html>

※次回は科学とは何か、学問とは何かについて、本学部出身の大学院生のお話、ミニキャリアデザイン論のさわり

※5月連休明けから、学外講師の講演とミニ「キャリアデザイン論」企画書の作成の実施の予定

4 テキストについて

石嶋芳臣・岡田行正(2011)『経営学の定点』同文館出版

本書の思い…はしがき、i 頁

…(6)加速度的に変わり続ける今日、変わってはならない普遍的な理念や価値とは何か

⇒「経営学の定点」の検討

5 評価方法

- 期末試験、出席点、企画書レポート点で総合的に評価します。
- 「経営学とは何か」的な問題を出すと思います。

6 来週のキーワード

科学、理論と実践、キャリアデザイン論

7 参考文献

石原武政・忍那憲治(2013)『商学への招待』有斐閣ブックス/大阪市立大学商学部(2016a)『商学部要覧 平成29年度(2017年度)』 / 大阪市立大学商学部(2016b)「本学商学部の概念図」
<http://www.bus.osaka-cu.ac.jp/ja/aboutus/undergraduate/01.html>, 2016/04/06/加護野忠男・山田幸三(2016)『日本のビジネスシステム』有斐閣/上林憲雄・奥林康司・團泰雄・関本浩矢・森田雅也・竹林明(2007)『経験から学ぶ経営学入門』有斐閣ブックス/齊藤毅憲(2002)『経営学を楽しく学ぶ(第2版)』中央経済社